

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	金沢大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カナザワダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	海外インターンシップ
	学部・研究科等名	大学院自然科学研究科・GSリーディングプログラム産学連携イノベーション人材養成コース
	担当教職員名・役職	細川晃・教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	1
	受入企業等数	1
	受入企業等名	記載しない(企業への理解を得ていないため)
	インターンシップの分類	3.海外インターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,9.その他
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	海外における民間企業、公的研究機関にてインターンシップを行い、国際的に活躍する研究者・技術者としての実践的能力を身に付ける。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	博士後期課程1～3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	原則2週間以上の期間で海外企業もしくは研究機関等で研究開発・生産活動に携わり、国際的に活躍できる実践的な能力や知識を身に付ける。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	コース必修科目「学内基礎研修」においてビジネスマナー、安全教育、インターンシップのための知財入門、キャリアセミナーを実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	コース必修科目「学内基礎研修」においてキャリアセミナーを実施し、インターンシップで得た経験について自己評価している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	博士後期課程学生を対象とした専門的な研修内容であり、主任指導教員が密にモニタリングしている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	評価は海外インターンシップ報告書及び主任指導教員の評価に基づいて決定する。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	原則2週間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	海外の企業もしくは研究機関等で原則2週間以上のインターンシップを行っている。

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業に御理解いただいた上で、そのニーズにも応えられるようにするため、事前に本学教職員と打ち合わせを行った上で実施している。また、受入企業側担当者と本教職員との面談の場を設け、受入れに係る負担感の軽減に努めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.se.kanazawa-u.ac.jp/sangaku/
問い合わせ先	大学等名	金沢大学
	担当部署名	理工系事務部学生課大学院係
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	076-234-6817
	メールアドレス	inowaka@adm.kanazawa-u.ac.jp